

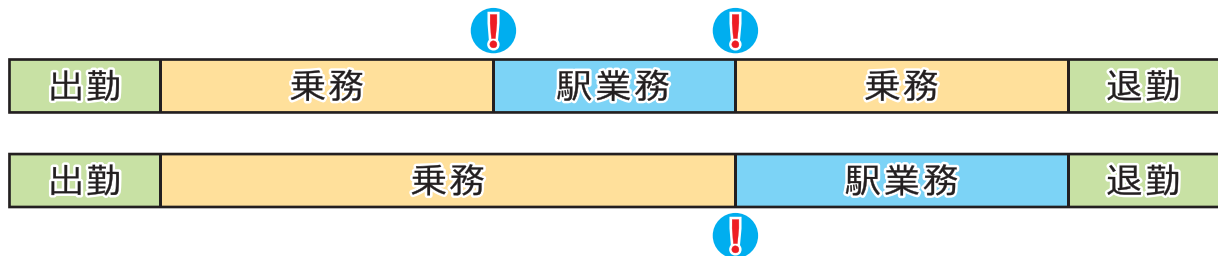
乗務員は 駅と乗務員は両立できない!

安全運行が使命だ!

営業統括センター・統括センター化が進む中で、「乗務員の駅業務」が各支社で実施されはじめています。会社は「とりあえずやってみよう」「スキルアップしてもらいたい」と説明していますが、乗務員は乗務に専念したいのが本音であり、**駅社員も教えながら仕事をしなければならず、大変になることが予想されます。**

会社の言う「融合と連携」は業務に集中出来ない状況となることから、混在はやめるべきです。

【乗務員の働き方のイメージ】



※上図は、会社が示した乗務員の働き方のイメージですが、
法令上、乗務員勤務では **「休憩時間を与えないことができる」** こととなります。

輸送障害が発生した場合の 食事時間はどうなる？

私たちは駅業務を実施するのであれば、乗務員の「その他時間」の範囲で、乗務終了後にすべきだ!!と主張しています。

会社の「柔軟な働き方」は社員の将来設計に負担を与えている、会社にとって都合のよい「働かせ方」ではないでしょうか？



国労は **本当の働きやすさ** を求めています。